

景観学習教室の様子(近年の開催状況)

年度	学校・施設名	対象学年 ／人数	実施日程	講師 ※敬称略 (県景観アドバイザー)
R8	平川市立 猿賀小学校	3年生 /24名	6/25,7/1	古川正敏 氏 (合同会社ゲンジアーキ 代表)
R8	五所川原市立 松島小学校	4年生 /18名	6/26	石澤暁夫 氏 ((株)エーアイサイン 会長)
R8	青森市立 合浦小学校	5年生 /21名	5/13	石澤暁夫 氏 ((株)エーアイサイン 会長)
R7	弘前大学教育学 部附属小学校	5年生 /69名	9/1,10/3,12/12	北原啓司 氏 (弘前大学特任教授) 岩瀬直樹 氏 (NPO法人青森県樹木医会事務局長) 古川正敏 氏 (合同会社ゲンジアーキ 代表)
R6	むつ市立 脇野沢小学校	2～6年生 /10名	6/26,9/10	北原啓司 氏 (弘前大学特任教授)
R6	三戸町立 三戸小学校	3年生 /40名	9/17	河村信治 氏 (八戸工業高等専門学校教授)
R5	むつ市立 脇野沢小学校	2～6年生 /10名	6/26,7/14,9/25	北原啓司 氏 (弘前大学特任教授)

★事前準備 授業の流れ・様子① (例：令和6年度 三戸町立 三戸小学校)
三戸小学校担当教諭と河村教授の事前打ち合わせ後
夏休み明け 児童への宿題

○好きな景観や気になる景観の写真を1人3枚撮ってこよう！

河村教授からの条件

- ・自分のもの(所有物)ではないもの
- ・景色や場所であること
- ・みんなが見れるものであること

宿題

○9/17の景観学習教室本番前に河村教授が授業で取り扱う写真を選定

①座学・発表 (9月17日 3時間目)

- 児童に事前に身近な気になるもの・景観の写真を撮ってきてもらい、授業内での対話を通して、児童の気持ちや感性の言語化を試みる。
- 景観の視点で、自分の落ち着く場所や居心地の良い場所の理由を自ら整理することで自分の住む町の魅力に気付きを与える。

座学・発表



●児童が撮ってきた写真について発表している様子

授業の流れ・様子②（例：令和6年度 むつ市立 脇野沢小学校）

①座学・まち歩き（6月26日 1～3時間目）

- 「景観」とは何か、まちの見方について講義
- グループに分かれてまち歩きをし、タブレットで撮影

講義・まち歩き



●景観について学んでいる様子

準備物品：ホワイトボード、タブレット、大型ディスプレイ（学校）



●まちあるきの様子

②発表会（9月10日 1～3時間目）

- まち歩きで学んだことや活動をまとめ発表

発表会



●発表の様子

準備物品：大型ディスプレイ、パソコン（学校）



●北原特任教授より講評

↑「景観学習教室」としては以上で終了。

スライドの作成、まとめ作業については学校が主体となり実施しました。

〈令和8年度景観学習教室応募から授業実施までの流れ〉

令和8年2月
～8月末
募集要領配布
応募受付

応募校と随時、
打合せを実施し
内容調整

令和8年6月中旬
～12月上旬
授業実施

- ・実施回数や内容については、実施決定後、各校の希望に合わせて調整します。
- ・講師の派遣手続き及び経費については県が負担します。
- ・まち歩きのファシリテーターとして、市町村職員を派遣することもできます。

お問合せ
県土整備部都市計画課
都市計画・景観グループ

住所
〒030-8570
青森市長島1丁目1-1

電話 017-734-9681
FAX 017-734-8196

✉
keikan@pref.aomori.l
g.jp